

ケアマネ かわら版

2012年
12月号

Vol.39

松江市地域介護支援専門協会

事務所：〒690-0012
松江市古志原7-4-14
あおぞら介護センター内
TEL (0852)20-2123
FAX (0852)20-2122
E-mail: akapera-j@madle.ne.jp

介護保険

松江市医師会副会長

野津立秋

平成9年に介護保険法が成立し、平成12年4月より施行されたが、松江市では公布前の段階から積極的に協力してきた。制度発足の理由は色々上げられているが、目的のひとつは医療費高騰の原因であった社会的入院の解消であり、その結果として在宅での介護を促す意図があった。しかしそれは全ての家族が望んでいる事ではなく、ましてや患者の意思によって帰宅するものでもなかった。せめて在宅を受け入れ易くするため、療養型病床群やショートステイの充実は不可欠であり、家族負担の軽減に配慮すべきだった。

★介護保険はお年寄りの自立支援を目的に発足しているが、自立しているお年寄りの生きがいを引き出せる場所・方法は設定されていないのは、不完全である。★また近年、病院死の比率が高いため昔のような在宅死にシフトしようとしている。にも拘らず医療保険では在宅ターミナルケア加算なる点数が設けてあるものの、介護保険ではターミナルに関する単位や看取りに対する単位が設定されていない。高齢者の自立支援も大切ではあるが、必ず最後に訪れる大切な終焉というステージを忘れているように思える。★本来、在宅医療を行っていくためには

看護の協力が不可欠になってくる。そう考えるこの「介護」とは一体何だろうか。これは1892年の陸軍軍人傷疾疾病恩給等差例からだと記載しており、さらに「介護」は施策としてではなく、恩給の給付基準としての概念であったそうだ。さらに1963(昭和38)年の老人福祉法で、特別養護老人ホームの機能を説明する概念として使われている。寮母を本来は看護職にさせたいがコスト高になる。コスト削減するのには何の職種に…。こんな事で決まったらしい。老後をより良く過ごして頂くためにはどうすべきかという命題に、経済問題のみが先行し、根本理念が欠如している。

★皆さんもいずれはこの介護保険のお世話になることは間違いない。人口構成の右肩上がりに伴い、認定者数も増加し、保険給付費が増加したという。そのため我々の支払う保険料額は改訂ごとに増える。

先の国会で社会保障制度の安定化という理由で、国民の半数以上の反対を押し切り、消費税が2年後8%、3年後10%にアップと決まった。これで支払う保険料額が減額になると思いきや、ある政党がこれで公共事業費200兆円が捻出できたと息巻いた。「オイコラ！国会議員！これって可笑しくないか！」

各種医療機器・医療設備
福祉介護用品・販売&レンタル



株式会社 **ピー・エム・エス**
Planning Medical Service
介護保険事業者番号 3270100260

本社 松江市黒田町 344-3

TEL 0852-31-2270

FAX 0852-31-2205



らくらくタイコー

福祉用具レンタル・販売・住宅改修
セーフティホーム 24

松江市北田町 63 番地 4

TEL 0852-22-3553 FAX 0852-22-3555

第10回島根県ケアマネジャー研究大会を終えて

島根県介護支援専門員協会

貝 谷 昭

去る10月13日、14日出雲市民会館を会場に、第10回島根県ケアマネジャー研究大会「更なるケアマネジャーの専門性を考える」を開催し160名の多くの皆様にご参加いただきました。

昨年は「今、ケアマネジャーの専門性を考える」というテーマで、事例を基にアセスメント、プランニングにおける視点の学びが中心でしたが、今年は「地域包括ケアシステム」とも関連してインフォーマルサービスを中心とした地域や他職種との連携・マネジメントに焦点を当て開催いたしました。

基調講演では淑徳大学の結城康博准教授に大会テーマと同じ「更なるケアマネジャーの専門性を考える」というテーマでご講演いただきました。今回の改正で社会保障制度審議会介護給付費部会のメンバーでもあった結城先生から、国の動向や今後のケアマネに期待される役割などについてのお話をいただきました。

教育講演では島根大学の加川准教授に「地域生活を支援するための実践と方法」というテーマでご講演いただきました。地域福祉の歴史的経緯と最近の意味、インフォーマル資源と介護支援専門員との関わりなどのお話で、「生活支援のためにインフォーマルサービスとの連携の重要性を再認識できた」という意見や「施設も社会資源の一つとして、地域と繋がるような活動が必要だと思った」などの意見がありました。

2日目の研究発表は初めて居宅、施設、地域密着の分科会形式で行いましたが、「全て自分の業務に直結している発表が聞けたので良かった」という意見が多かったです。また「各発表のテーマを深めるために、もう少し議論の時間が欲しかった」という意見も多く、発表を聞くだけではなく、そこから深めていくことで自分の実践に活かせるヒントを得たいという参加者のニーズのあらわれではないかと思っています。

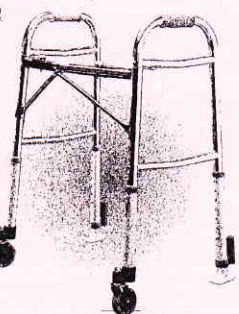
市民公開講座は人生安心サポートセンターきらりの橋口貴志理事長を講師に「終活最前線!」というテーマでエンディングノート、後見、葬儀へのサポートなどの活動についてご講演いただきました。最近テレビなどでも取り上げられる話題でもあり興味をもたれた方が多く、また介護支援専門員の視点から「島根でもこのような活動をされる団体が必要」という意見も多くありました。

ご利用者の生活支援に必要なものは様々であり、マネジメントの幅を広げるために非常に有意義な大会だったと思っています。

最後に来年は隠岐での開催になります。内容が決まればご案内いたしますが、多くの皆様のご参加をお待ちしております。



屋内専用コンパクトなソリ付き歩行器
スライドウォーカー
SLIDE WALKER
●実用新案登録済
●特許出願済



プレーキもペダルも必要なし!
後部のソリが、歩行時のスピードを
摩擦力でより抑え、安心歩行!!

床面防止裏材使用
(ソリ専用カバーもご用意)
ソリが滑り止まり、転倒でも
お安眠にご利用いただけます
新製品「キャスター」つき
方向転換もスムーズ!!

NIHON
S-T-A
Sons & Transfer Assist
福祉医療機器のエキスパート
日本エスタ 株式会社
〒683-0103 鳥取県米子市富益町3614
ウィール・チェア事業部
TEL (0859) 25-6655 FAX (0859) 25-6644



青木 安野
わたしたちが担当します。

福祉用具・介護用品の店
げんき堂



本店 〒692-0011 安来市安来町 1083
☎0852-22-3652 FAX 0852-22-4222
松江店 〒690-0012 松江市古志原3-7-31
☎0852-28-6041 FAX 0852-28-6045

第10回島根県ケアマネジャー研究大会に参加して

鹿島病院やまゆり居宅介護支援事業所

濱崎 貴仁

去る10月13日(土)14日(日)の2日間にわたり、出雲市民会館を会場に第10回島根県ケアマネジャー研究大会 in 出雲が開催されました。

今年の春に行われた診療報酬、介護報酬同時改定において「在宅重視」を明確に打ち出し、今後、ますます、医療と介護の連携が求められています。そのため、ケアマネジャーが専門性を発揮していくためには、介護保険制度の中だけにとらわれるのではなく、医療や地域と今以上に密接に関わっていくことが重要と改めて感じました。

また、今回、2日目に行われた研究発表へ発表者として、参加という大きな役を頂き、その重圧から

夜も眠れない日々が続き…というのは大袈裟ですがとても貴重な経験をさせて頂きました。発表内容は平成19年度から取り組んでいる松江・八束医師会との「医師とケアマネジャーの合同研修会」を通して、医師との連携における現状と今後の課題について、医師会、松江市のケアマネジャーへのアンケート結果から研究発表を行ないました。発表にあたって、役員の先輩方にたくさんのご指導や励ましを頂き、大きなおなかを出して…ではなく、大きく胸を張って発表する事が出来ました。ありがとうございました

医師とケアマネの合同研修会に参加して

生協のぞみ在宅支援センター

有田 則子

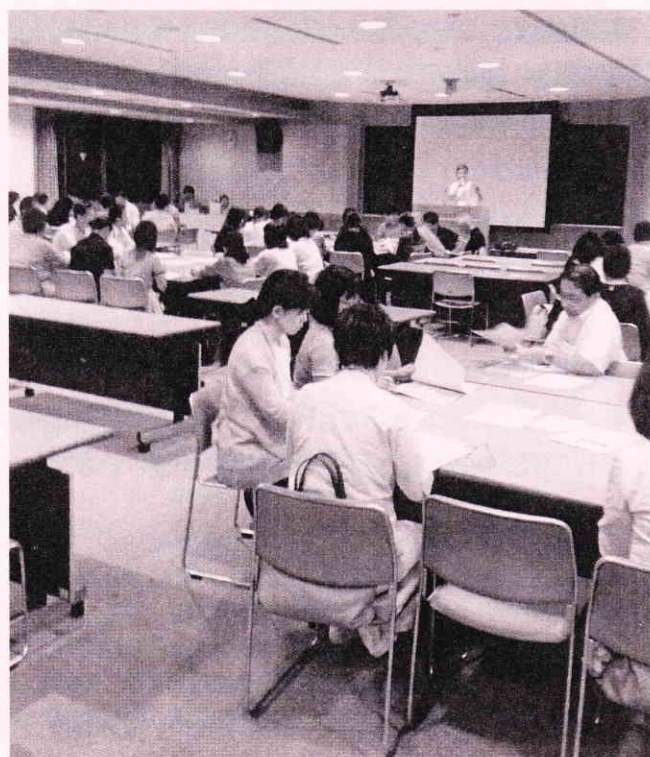
研修会に参加すると新しいことの学びが出来る事はもちろん、横のつながりもでき、相談したり思いを話したりすることで「ケアマネの仕事は一人でするけど、一人じゃない。」と感ずることができ、明日からのやる気につながり、元気になります。

グループワークでは先生から、新しい人を受け入れるときは自分を高めるとき。と言われた言葉がとても印象に残りました。

知識も浅く、ケアマネとしての引き出しが少ないことで自分に自信がもてず、ケアの正解が決まっていない事で、この方向で良いのだろうか。と不安も感じていましたが、本人や家族に笑顔があれば良い方向なのではないか。とも思い、失敗してもそれを糧にして、自分を高めるためにも前向きにいろんなケースに向かっていこうと思いました。他のグループもどのような実りのある話をされていたのかも知りたいと思いました。

またアンケート結果は興味深く、患者さんの情報を知らせて欲しいと感じられていたり、話の長い報

告はいけないうなど大変参考になりました。資料があればもっとゆっくり見ることが出来るのではないかと感じました。



地域医療と連携について考える ～松江赤十字病院 秦公平院長と語ろう～

鹿島病院やまゆり居宅介護支援事業所 青 山 善 一

松江圏域でケアマネジャーの業務を行なっていく上で、松江赤十字病院との関係は切っても切れない関係です。今回の研修の題目は「地域医療と連携について考える～松江赤十字病院 秦公平院長と語ろう～」というテーマでした。私が居宅ケアマネの仕事始めて2年半という間にも幾度となく、松江赤十字病院の先生や相談員の方々にはお世話になってきました。しかし、秦医院長とはお話をすることがなく、今回の研修に参加して初めて沢山の話をお聞きすることができました。

日本と島根の現状やこれからの日本の医療、医師不足についてという大きな話から、秦医院長の趣味の話、遺跡発掘費用についてのユニークな話までして頂きました。その中で「在院日数が短くなってきている為、今後、今以上にケアマネジャーの力が必

要となってくる」の一言を秦医院長から直接言って頂き、これからもっとケアマネ道に精進しようと思いました。その為にも医療知識の向上を目指し、相談技術を磨いていきたいと思いました。



ケアマネ協会懇親会に参加しました♪

サンキ・ウエルビー介護センター松江 佐 竹 美 香

松江市ケアマネ協会では、協会主催の研修の後、講師の先生を含めた介護支援専門員の懇親会を毎回開催しています。

懇親会はとてもリラックスした雰囲気、講師の先生や Dr. 他のケアマネさんとも距離もぐっと縮まり、とても楽しい会です。

講師の先生や Dr. に対して敷居の高さを感じている方も多いかもしれませんが、懇親会では仕事のことのみならず、趣味やプライベートのお話もお互いにざっくばらんにすることができ、先生方の意外な一面が垣間見れることも度々、また研修中や業務中には聞きづかったことも、この雰囲気だからこそ気軽に質問したり、意見交換ができる、というメ

リットもあります。

協会会員だけではなく、介護支援専門員のみならずならどなたでも参加できるので、ぜひ気軽にご参加ください。お待ちしております！



編集後記

平成 24 年を振り返ると…正月は大雪にならなくてよかったな。4 月介護保険改正で年度末は右往左往しご利用者には理解不十分なまま説明に回ったな。グループホームや高齢者住宅ができていけるな。酷暑だったな、宍道湖がアオコですごかったな。しまね博をやったな。急に寒くなってきたな、紅葉が綺麗だな。アセスメントも連携もできていないな…です。皆様はどんな一年でしたでしょうか、是非お聞かせください。

これからもケアマネ同志、宜しく願い致します。良いお年をお迎えください。